

# 近世道状遺構の集成（４）

近世研究プロジェクトチーム

## はじめに

本プロジェクトチームでは、昨年度より近世道状遺構の集成を行っている。

県内の遺跡で発見され、報告されている近世の道状遺構のデータを集成し、規模や構築方法等について検討していく予定である。今回は横浜市に所在する長津田遺跡群住撰遺跡・宮之前遺跡・宮之前南遺跡、南原遺跡、原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点、馬場綿内谷遺跡を取り上げる。

## 凡 例

- ・遺構名は報告書の記載に基づく。
- ・縮尺は平面図がスペースに収まるような大きさに適宜変えているため、図ごとに示した。
- ・断面図は報告書に複数記載されている例もあるが、一部を記載することにした。

資料No.	遺跡名	遺構名	文献名
60	長津田遺跡群住撰遺跡	SR001	1996年『長津田遺跡群Ⅱ 住撰遺跡』 かながわ考古学財団調査報告12
61	長津田遺跡群宮之前遺跡	SR001	1999年『長津田遺跡群Ⅴ 宮之前遺跡』 かながわ考古学財団調査報告58
62	長津田遺跡群宮之前南遺跡	SR001	1998年『長津田遺跡群Ⅳ 宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
63	長津田遺跡群宮之前南遺跡	SR002	1998年『長津田遺跡群Ⅳ 宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
64	長津田遺跡群宮之前南遺跡	SR003	1998年『長津田遺跡群Ⅳ 宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
65	長津田遺跡群宮之前南遺跡	SR004	1998年『長津田遺跡群Ⅳ 宮之前南遺跡』 かながわ考古学財団調査報告37
66	南原遺跡	道状遺構	2002年『南原遺跡』 かながわ考古学財団調査報告129
67	原宿町遺跡	1号道状遺構	2009年『原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点』 かながわ考古学財団調査報告238
68	原宿町遺跡	2号道状遺構	2009年『原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点』 かながわ考古学財団調査報告238
69	原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点	K1号道状遺構	2009年『原宿町遺跡・原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点』 かながわ考古学財団調査報告238
70	馬場綿内谷遺跡	K1号道状遺構	2013年『馬場綿内谷遺跡』 かながわ考古学財団調査報告295
71	馬場綿内谷遺跡	K2号道状遺構	2013年『馬場綿内谷遺跡』 かながわ考古学財団調査報告295
72	馬場綿内谷遺跡	K1～10号硬化面	2013年『馬場綿内谷遺跡』 かながわ考古学財団調査報告295

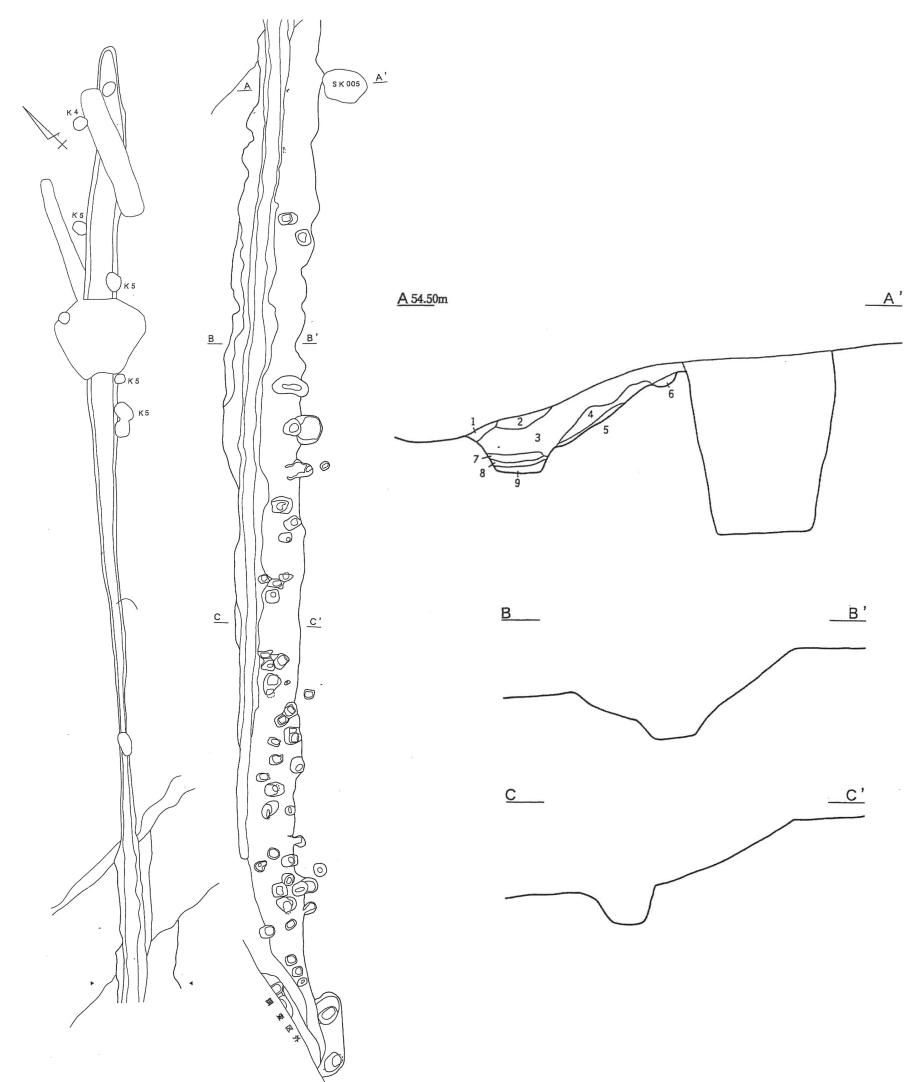
資料No.	60	遺跡名	長津田遺跡群住撰遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	SR001		
道 幅	0.4～0.5m		
年 代	宝永火山灰噴火前後に使用		
備 考	溝状に掘り込まれた道、検出長65m、東西両端とも調査区外に延びる、4層の硬化面、北側に平行する溝状遺構（SD002）があるが溝よりも古い		

The diagram illustrates the archaeological site SR001, which is a long, narrow trench-like feature running vertically. To its right is a parallel feature labeled SD002. The plan view shows the layout of these features, with cross-sections A-A', B-B', C-C', and D-D' indicated. Cross-section A-A' shows a profile with a peak labeled 1 and a scale of 45.1m. Cross-section B-B' shows a profile with a peak labeled 7 and a scale of 45.4m. Cross-section C-C' shows a profile with a peak labeled 11 and a scale of 49.8m. Cross-section D-D' shows a profile with a peak labeled 13 and a scale of 49.8m. A north arrow is located in the upper right corner of the plan view.

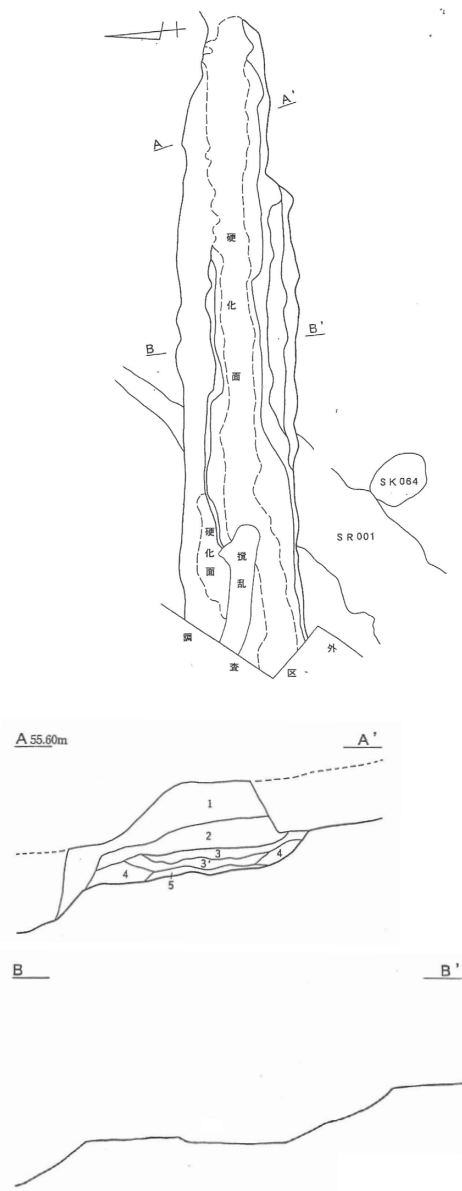
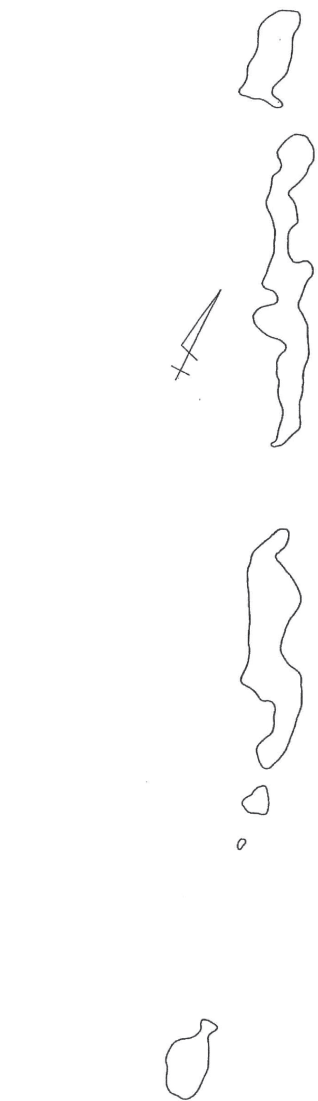
縮 尺	(平面図) 1/500 (断面図) 1/100
-----	-------------------------

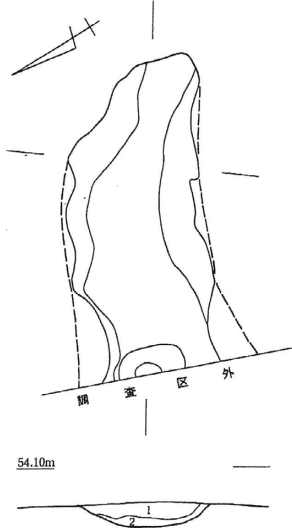
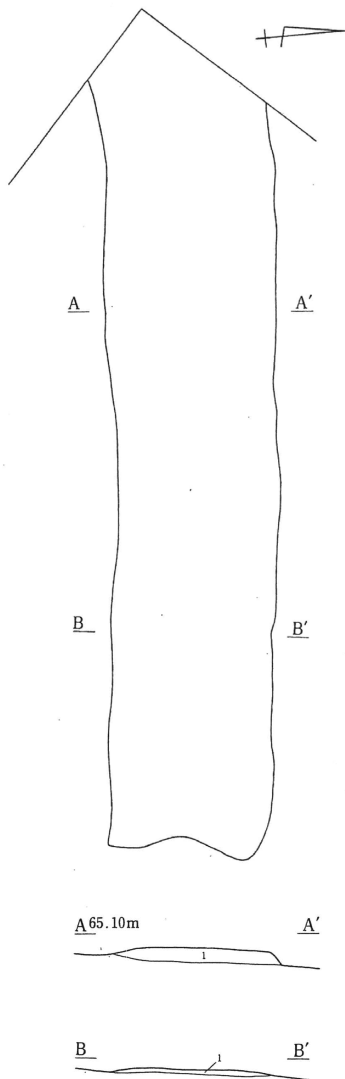
近世道状遺構の集成（４）

資料No.	61	遺跡名	長津田遺跡群宮之前遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	S R 0 0 1		
道 幅	1.34m		
年 代	宝永火山灰噴火前から使用		
備 考	検出長100.76m、硬化面厚さ8～24cm、溝底から立ち上がりにかけての部位にピットが認められる		
<div><p>The image contains a detailed archaeological drawing of a road structure labeled S R 0 0 1. It includes a plan view on the left and several cross-sections on the right. The plan view shows a long, narrow road with a central shaded area and numerous pits marked with numbers. Labels A through I and A' through I' are placed along the road. A north arrow is in the top left. The cross-sections (B, C, D, E, G, H, I) show the road's profile with elevations ranging from 57.2m to 58.4m. A scale bar at the bottom indicates 1/200 for both plan and cross-section views.</p></div>			
縮 尺	(平面図) 1/200 (断面図) 1/200		

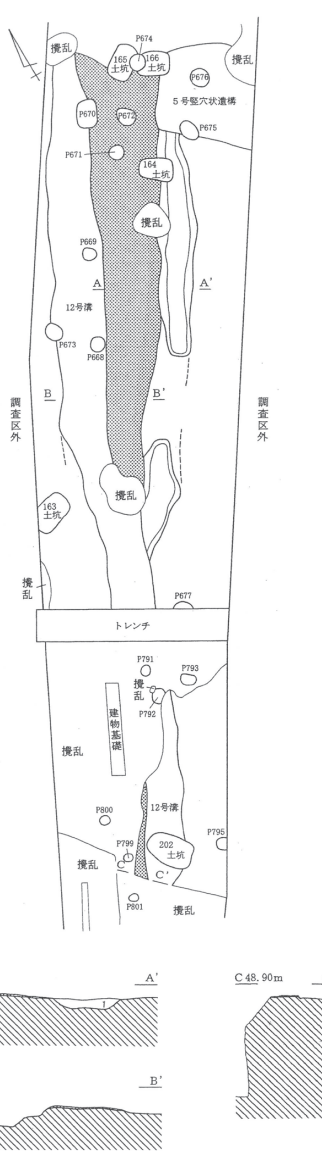
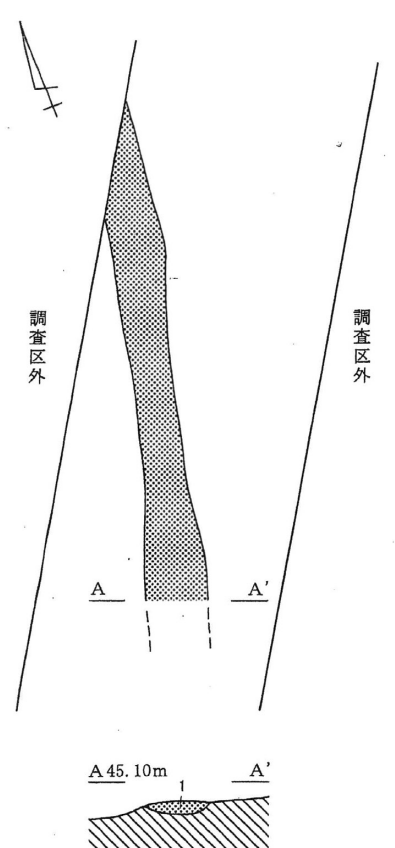
資料No.	62	遺跡名	長津田遺跡群宮之前南遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	SR001		
道 幅	0.2～0.6m		
年 代			
備 考	溝状に掘り込まれた道、検出長54.2m、一端は調査区外に延びる、南西側に小ピット多数あり、SR002に切られる		
<div></div>			
縮 尺	(平面図) 1/200 (断面図) 1/60		

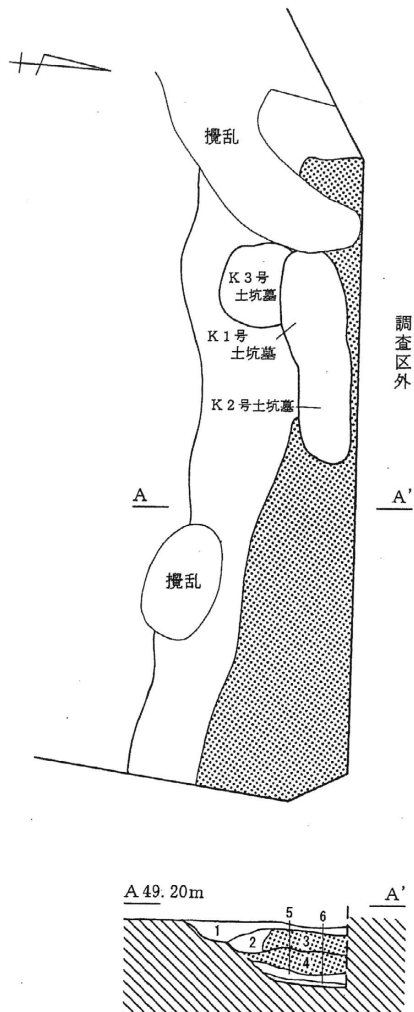
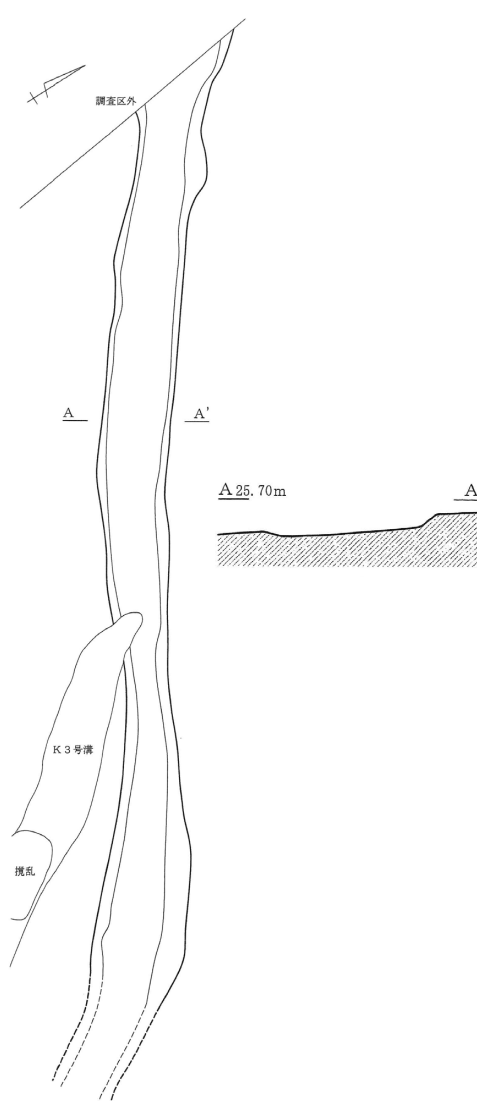
近世道状遺構の集成（４）

資料No.	63	遺跡名	長津田遺跡群 宮之前南遺跡	資料No.	64	遺跡名	長津田遺跡群 宮之前南遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町			所在地	横浜市緑区長津田町		
遺構名	SR002			遺 名	SR003		
道 幅	0.7～1.6m			道 幅	最大で0.45m		
年 代				年 代			
備 考	検出長13.8m、西端は調査区外に延びる、硬化面厚さ20cm、SR001を切る			備 考	検出長9.1m、2号段切りの段テラスにあり		
							
縮 尺	(平面図) 1/150 (断面図) 1/60			縮 尺	(平面図) 1/60		

資料No.	65	遺跡名	長津田遺跡群 宮之前南遺跡	資料No.	66	遺跡名	南原遺跡
所在地	横浜市緑区長津田町			所在地	横浜市保土ヶ谷区川島町		
遺構名	SR004			遺 名	道状遺構		
道 幅	0.9m			道 幅	2.65m		
年 代				年 代	宝永山噴火以降に構築		
備 考	検出長2.5m、端部のみ検出、西端は調査区外へ延びる			備 考	検出長14.3m、硬化面厚さ3～10cm		
							
縮 尺	(平面図) 1/60 (断面図) 1/60			縮 尺	(平面図) 1/100 (断面図) 1/100		

近世道状遺構の集成 (4)

資料No.	67	遺跡名	原宿町遺跡	資料No.	68	遺跡名	原宿町遺跡
所在地	横浜市戸塚区原宿町			所在地	横浜市戸塚区原宿町		
遺構名	1号道状遺構			遺 名	2号道状遺構		
道 幅	1.9～2.2m			道 幅	0.55m		
年 代	宝永噴火以前に廃絶			年 代			
備 考	検出長22m、硬化面厚さ3cm、幅1m・深さ0.1mの側溝を伴う、宝永スコリアで埋まった溝に切られる			備 考	検出長4m、北側は調査区外にも延びている、硬化面厚さ10cm		
							
縮 尺	(平面図) 1/200 (断面図) 1/100			縮 尺	(平面図) 1/60 (断面図) 1/60		

資料No.	69	遺跡名	原宿五丁目遺跡第Ⅰ地点	資料No.	70	遺跡名	馬場綿内谷遺跡
所在地	横浜市戸塚区原宿町			所在地	横浜市鶴見区馬場		
遺構名	K 1 号道状遺構			遺 名	K 2 号道状遺構		
道 幅	0.9m以上			道 幅	1.9m前後		
年 代	宝永噴火直後まで使用			年 代			
備 考	溝状に掘り込まれた道、検出長5.3m、一部のみ検出、硬化面2面、硬化面厚さ15～20cm、硬化面最上部に宝永火山灰が堆積			備 考	U字状に掘り込まれた溝、検出長20.2m		
							
縮 尺	(平面図) 1/60 (断面図) 1/60			縮 尺	(平面図) 1/150 (断面図) 1/60		





資料No.	72	遺跡名	馬場綿内谷遺跡
所在地	横浜市鶴見区馬場		
遺構名	K 1～10号硬化面		
道 幅	1号0.5m、2号1.4m、3号2.2m、4号0.3～0.55m、5号0.5m、6号0.2～0.6m、7号0.52m、8号0.4～0.8m、9号0.4～0.8m、10号0.4m		
年 代	18世紀以降に埋まり機能損失		
備 考	4号・5号・10号は溝状に掘り込まれた道、検出長は1号0.3m・2号0.2m・3号1m・4号30m・6号18.6m・7号15.4m・8号15.2m・9号2.2m・10号5m、10号は調査区外に延びている、硬化面の厚さ4号10～14cm・5号16cm・7号6cm・10号7cm		
<div><div><p>調査区外</p><p>K8号硬化面</p><p>試験坑</p><p>K4号硬化面</p><p>K5号硬化面</p><p>K6号硬化面</p><p>K3号硬化面</p><p>K2号硬化面</p><p>K1号硬化面</p><p>K7号硬化面</p><p>K9号硬化面</p><p>12号トレンチ</p><p>K10号硬化面</p></div><div><p>K4号硬化面</p><p>A 33.20m A'</p><p>B 30.20m B'</p><p>K4号硬化面</p><p>K5号硬化面</p><p>C 26.30m C'</p><p>K7号硬化面</p><p>D 20.50m D'</p><p>K10号硬化面</p></div></div>			
縮 尺	(平面図) 1/800 (断面図) 1/60		